

週報

【2024/7 第2例会】

例会日：毎週金曜日

例会場：碧海信用金庫本店3F 安城市御幸本町15-1

TEL:0566-75-8866 FAX:0566-74-5678

Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp

HP: <http://www.anjo-rc.org>

■創立日：S33年1月10日

■RI加盟認証日：S33年2月6日

第3183回例会

2024年7月12日(金) 12:30~13:30

司会者：荻須 篤君

ソング：「四つのテスト」「手に手つないで」

ニコボックス委員会：横山 真喜男君



ゲスト及びビジター：加藤 謙一様 地区青少年交換委員会 委員長 名古屋宮の杜RC
加藤 恭太郎様 地区青少年交換委員会 副委員長 名古屋守山RC

出席報告者：杉山 邦雄君

全会員数 51名

現在出席義務者数

本日の出席人数 38名

内出席免除者の出席人数

出席率 82.60%

2023-24年度：RIテーマ

「ロータリーのマジック

(The Magic of Rotary)」

安城ロータリークラブ会長方針：

「EnjoyRotaryLife」

■会長：成田 孝則

■幹事：鶴田 香也乃

■クラブ会報：沓名 一樹・岡田 健裕

■ 会長報告

成田 孝則会長



7月12日：安城ホームニュース

6月7日の例会にて

「安城市心身障がい児を持つ親の会 ひまわり会」

への顕彰が掲載されました。

理事懇談会

日時：7月5日(金)18時30分

場所：料亭 川本

2024-2025年度 クラブ活性化セミナー

日時：7月12日(金)16時～

場所：TKPガーデンシティPREMIUM名駅西口2階

ラーニングファシリテーター

沓名 俊裕 パストガバナー

これだけは知っておきたいロータリー

ロータリークラブはなぜ点鐘を鳴らすの？

日本のロータリークラブでは例会に限らず様々な会合は点鐘で始まり点鐘で終わります。外国のロータリークラブでも同様に、例会で点鐘するクラブは少なくありません。外国では例会前に食事をするクラブが多く、食事が終わり、例会を始める切替の合図として鐘を鳴らすそうです。一方、点鐘の代わりに



Rotary 

点鐘

日本のロータリークラブでは、例会に限らず様々な会合は点鐘で始まり、点鐘で終わります。外国のロータリークラブでも同様に、例会で点鐘するクラブは少なくありません。外国では例会前に食事をするクラブが多く、食事が終わり、例会を始める切替の合図として鐘を鳴らすそうです。一方、点鐘の代わりに

“Call to Order”、つまり“お静かに願います”の発言で例会が始まるか、発言に続くお祈りの後に例会が始まるクラブもあります。

また、点鐘ではなく、木槌を叩くクラブもあるそうです。いずれにしてもケジメをつけるという意味で、例会では点鐘などの儀式が行われているようです。

日本では、1920年(大正9年)頃、東京クラブの例会で点鐘をしていたようですが、それを他のクラブが真似ていったのではないかとされています。当時の日本の学校では、授業の開始・終了時間は鐘を鳴らして知らせる習慣がありました。

また、江戸時代はお寺の鐘で時刻が伝えられました。それだけに、開始・終了のケジメをつけるという意味での点鐘は、日本人の習性に合っているのでしょう。

ちなみに、点鐘は英語でShip's bell や Time bellと言います。その由来は、大航海時代に船上で時間を知らせる鐘(bell)だったようです。時計がなかった当時、航海の最中に時刻を知ることができたのは、太陽の高度が最大になった正午(12時)だけでした。正午以降は、30分毎に砂時計をひっくり返しなが、時刻を計っていたのです。

そして、砂時計をひっくり返す30分毎にタイムベルを鳴らし、船内に時間を知らせていたそうです。新クラブを結成した際、「新クラブの旗や鐘は、スポンサークラブが準備して贈呈する」という慣習がありました。

実際には地区や国によって様々ですが、個人的には良いことだと思っています。

文責：鈴木一作

1. 8/23.4に行います安城七夕まつりのお手伝いを、おひとり1回以上のご協力をお願い致します。
当日のイベントについての内容及び会場レイアウトを配布いたします。
2. 8/24(土)補助金事業のチラシを配布いたします。
3. 7/19(金) 定款第7条第1節の規定により休会です。
4. 7/26(金) 例会終了後 クラブアッセンブリーを行います。
5. ロータリー韓日親善会議が行われます。回覧を頂き参加希望者は申し出ください。
6. ゴルフ部会より 本年度のゴルフ部会の入会申込書と、10月に開催します「北海道遠征ゴルフコンペ」のご案内を配布いたしました。

【本日のセレモニー】

・入会式



◆ クラブフォーラム事業計画発表

出席委員会・職業分類委員会・親睦活動委員会・雑誌委員会・会員選考委員会
 会員増強委員会・プログラム委員会・公共イメージ向上委員会・クラブ会報委員会
 ロータリー情報委員会・ニコボックス委員会・会場委員会

■ 出席委員会

堀 真也君

今年度、成田会長が掲げた「Enjoy Rotary Life」をテーマにした通り、楽しい例会にするためには、最初に通る入口が一番明るく元気であるべきだと思います。入口が暗ければ、最初から皆様の気分も暗くなってしまいます。まずは、皆様を明るく笑顔にお迎えするためには、誰よりも早く会場に向かい、皆様をお迎えするための準備が必要であります。

今年度はこの出席委員会のメンバーで、1年間精一杯、元気に明るく笑顔でお迎えさせていただきます。また、例会の出席予定をあらかじめ確認させていただく事も多々あると存じますが、会員の皆様のご支援ご協力を宜しくお願い致します。

■ 職業分類委員会

辻 隆士君

職業分類は時代と共に新たな職域が生まれ変換していくように思います。

新入会員候補者の方に職業分類を検討する時には、理事会、会員選考委員会並びに会員増強委員会と連携し、未充填の職業分類の充填に務め、時代に合った職業分類を設定するようにしてまいります。会員の皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

委員(副)市川 護・大坪久乃

■ 親睦活動委員会

前沢 宏允君

本年度成田会長のテーマである「Enjoy Rotary Life」を実現するためには、親睦活動委員会が必要不可欠です。ロータリーの原動力である親睦を深めるため、ロータリーを楽しむのではなく愉しむ親睦活動を1年間行っていききたいと思います。また、観劇同好会にも力を入れていきたいと思っています。お友達、奥様、旦那様などなたでもご参加いただけ、新しい世界観と親睦を皆で楽しみましょう。

活動を通して会員同士の親睦がより一層深まり充実したロータリーライフを目指していきますので、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

【行動予定】

会員家族親睦例会 2024年12月14日(土)

お花見移動例会 2025年 3月29日(土)

観劇同好会企画予定

・宝塚講演ツアー 2024年9月3日

星組「記憶にございません」

・歌舞伎ツアー 2025年1月から2月(未定)

【その他活動】

毎月の誕生祝い、結婚記念祝い、配偶者様誕生祝い、新入会員の歓迎

委員(副) 辻 隆士・永谷文人・寺部 暁・柴田勝久

■ 雑誌委員会

松本 隆利君

世界は広く、複雑で多様であり、その長い歴史の中で欲望と生存を巡り、未だ戦乱、諍いが絶えません。2023-2024年度国際ロータリー会長ゴードンR.マッキナリーが『Rotaryロータリーの友』2024年4月号で述べておられるように、ロータリークラブは世界の平和を願い、平和を愛し、平和を求める活動を行っています。日々、奉仕の精神で友好を深め合い活動しております。

世界の、そして日本国内のロータリークラブの活動、奉仕の実践を“ロータリーの友”は記事にして、毎月定期で刊行しています。多岐にわたる、様々な記事が満載されており、見所や読みどころを毎月報告させていただきます。「Enjoy Rotary Life」。我々のロータリー活動に連帯あるいは親睦、奉仕の精神の学びに資していきたいと考えています。ロータリーの友はすでに電子版も出され創刊号からすべて読むことができます。ご利用ください。当委員会は松本隆利、大坪久乃、丸山光夫が担当させていただきます。何卒、よろしくご指導ください。

委員(副)大坪久乃・丸山光夫

■ 会員選考委員会

成瀬 介宣君

優秀な人材を確保し活性化を図ることは、今後のクラブの成長に欠かせない最も重要な事項だと考えております。当委員会の役割は、会員増強により推薦された候補者をロータリアンとして活躍できる資質を有しているかどうかを検討することだと考えています。

指導力や協調性に富みポジティブに対応できる人材を多く入会できますようにお手伝いして参りたいと存じます。会員諸兄のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

委員(副)小野内宣行

■ 会員増強委員会

金子和弘君

今年度、成田会長のもと会員増強委員会としまして、2名の純増を計画しております。

会長方針にもありますように、会員同士が親睦を深め、楽しい例会を開き、参加したいと思われるような会にしたいと思っています。

また、歴史と伝統のある安城ロータリークラブの10年先を見据えて、持続可能な奉仕活動を行う為に、若い力を積極的に拡大していきたいと思っています。

委員会メンバーをはじめ、会員の皆様のお力を借りながら地道に活動してまいりますのでご協力をお願いいたします。

委員(副)清水正幸・沓名俊裕

■ プログラム委員会

服部 敦君

本年度、プログラム委員会では、会長方針である「EnjoyRotaryLife」をテーマに、クラブの皆様に楽しんでいただけるような卓話をしていただける様に活動していきたいと思っております。

充実した時間を過ごすことができるよう1年間精一杯努めさせていただきますので、皆様のご指導、ご協力を頂けますよう、よろしくお願いいたします。

委員(副)山口佳久

■ 公共イメージ向上委員会

兵藤 幸男君

公共イメージ向上は、ロータリーの活動を記録社会にPRし、知ってもらえる活動であると思っております。ウェブサイト・マスメディア・出版物などロータリアンが積極的に地域社会への奉仕活動を行い、ロータリー活動が社会に貢献していることを認知してもらい、新たに会員増強に繋がればと考えております。

安城ロータリークラブには、新たに会員増強する直接的な委員会や、より良い会員を選考する委員会もありますが、公共イメージ向上委員会が会員増強の一助になればと思っています。皆様のご協力を宜しく申し上げます。

委員(副)細井英治・石川 博

■ クラブ会報委員会

沓名 一樹君

クラブ会報委員会の役割は、ロータリーに関する情報を一般の人々に広め、クラブの奉仕プロジェクトや活動を広報することです。

効果的な広報を行うことによって、信頼できる組織であると地域社会に知らせることができます。ロータリーについて、好ましい公共イメージが生まれれば、クラブ会員が積極的に活動しようとする意欲が高まると共に、会員見込み者も入会を熱心に希望するようにクラブ会報を行っていく所存です。

委員(副)岡田健裕

■ ロータリー情報委員会

石川 義典君

会長の方針の「EnjoyRotaryLife」のテーマのもと、入会3年未満の会員を対象にロータリークラブの楽しみ方について情報を提供していきたいと思っております。

また、ファイアースイドミーティングの場を利用してロータリークラブの歴史や奉仕活動の紹介などをして今後の会員の活動意識の高揚に繋がるように友情の輪が広がるようにしたいと思います。

イニシエーションスピーチ(自己紹介)の実施

ファイアースイドミーティング(基礎知識勉強会)の実施

委員(副)奥田法行・戸谷 央

■ 会場委員会

荻須 篤君

地区方針である「魅力ある例会」、そして会長方針である「会員同士が親睦を深め、楽しい例会」をモットーにしつつ、役員や委員会との連携を図り、会場設営や例会のスムーズな進行に心掛けてまいります。

またクラブ会員の例会への参加率を高めるための工夫も必要であり、柔軟に対応してクラブの活性化につながるよう努めてまいります。

ゲストやビジターの方々には、おもてなしの心で接し、心地よく参加していただけるよう対応してまいります。

クラブ会員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

委員(副)榮 圭士・富岡里美・奥嶋正衛・服部 敦・金子和弘

■ ニコボックス委員会

神谷 明文君

海外のロータリークラブでは、ニコボックスに似たものとして「Fine Box」というものがあり、それは罰金箱の意味で、欠席や早退などのペナルティを集めるものだそうです。日本のニコボックスは、大阪ロータリークラブの藤原九十郎君が、昭和11年(1936年)に、社会奉仕に関するプレゼンテーションをした際、資金集めの方法としてニコニコ箱という名称で、自祝のことがあった場合、めいめいニコニコとして応分の金を自発的に入れることにしたらどうか提唱され、大阪クラブが採用し、全国のクラブでも実施するようになりました。

この約90年の歴史あるニコボックスを、我がクラブでは、会員や家族、事業場などの慶事や、お世話になったお礼、迷惑をかけたときなどに、ニコニコしながら喜びを分かち合い、親睦を深めることを目的としています。集まったお金は、社会奉仕活動の基金として使われています。

今年度は、お寄せ下さったメッセージの中で、ユーモア、楽しい事、素晴らしい事、警世など秀逸なものを毎月表彰させて頂く予定ですので、ふるってご参加、ご協力をお願い致します。

委員(副)横山真喜男・赤木禎行・内藤教恵・伊藤昌悟